

第16期第20回常任理事会議事録

日時 昭和47年6月19日(月) 15:00~18:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山本, 大田, 関口, 関原, 駒林, 北川, 大井,
小平, 川村, 伊藤各常任理事

列席者 中村, 鈴木庶務委員

報告

[庶務]

1. 昭和47年度の地球物理学連合の当番学会は、目黒区東山3~24~13建設省国土地理院内、日本測地学会で連絡者は田島稔氏である。
2. (財)借成会理事長から昭和47年度借成学術奨励金の課題募集がきた。締切6月30日
3. 5月19日、気象庁長官から政府の方針として公益法人の役員兼務は原則的に禁止されたが、気象庁職員が本学会の役員を兼務することは事情やむを得ないと考えられるので現在の役員の承認について運輸省と協議中である。今後の異動については、その都度運輸省と協議を要すると通知があった。
4. 5月31日、構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム開催と発表論文の募集がきたので天気5月号に掲載した。
5. 6月12日、日本学術振興会々長から昭和48年度日本学術振興会米国大学院留学生募集要項がきたので、各支部および関係の理事へ写を送付した。(申請書締切6月30日)
6. 6月16日、日本学術会議会長から、6月27日(火)日本学術会議講堂で学、協会との懇談会を開催するので出席するよう通知がきた。
7. 九州支部および北海道支部から新役員の報告がきた。
8. 6月1日学会奨励金受領候補者推選依頼状を発送した。
9. 6月19日東京大学海洋研究所長から、昭和49~51年度白鳳丸研究計画立案シンポジウムを10月16, 17日開催するので、討議資料を8月31日までに提出するよう照会がきた。
10. 6月12日、文部大臣に定款変更認可申請をした。

[会計]

5月26日~6月2日に仙台で行なわれた大気放射国際会議は無事終了した。寄付収入461万円 利息収入9,154円(仙台における分を除く)この会議に要した

経費の会計については公認会計士に監査を依頼し、学会事務局を経て7月2日までに東京都に提出する。

[講演企画]

12月の風のシンポジウムについては講演企画委員会が窓口になり運営委員は気象研究所の根本茂会員に依頼する。

[気象研究ノート]

- ・第112号まで発刊したが第113号から次期委員で発刊する。

[外国文献]

- ・cloud physics は単行本から転載したので出版社から使用料を求めてきたが著者の了解を得ているので、この事を出版社に連絡したが、再度要求があったので使用料を払らわざるを得ない。
- ・現在まで No. 6 が発刊され、これらの経費の精算書が出され、以後のものについては次期委員会の手で発刊されることになった。

議 題

1. 文部省編「学術用語集気象学編」の出版権設定について

次期役員に引継ぎ前向きで考えてもらうこととした。

2. 学会奨励金受領者選考委員会委員について

宮 沢 清 治	(福岡に在勤の経験)
立 平 良 三	(レーダーの経験)
山 崎 道 夫	(札幌、南極の経験)
川 村 清	(地球化学の分野)
北 川 信一郎	(担当理事)

以上の5名を了承することとなった。本件は全理事に書面審査を依頼する

3. 次期役員への引継事項について

(1) 文部省編「学術用語集気象学編」の出版権設定について

- (2) 正野記念論文集の売り捌き
- (3) 学術交流を図ること
- (4) 長期計画について理事会としての対処
- (5) 文部省より定款の一部改正の認可を得ること
- (6) 沖縄支部設置の指導をすること
- (7) 気象集誌のレベルアップを図ること
- (8) 賛助会員の獲得を図ること
- (9) 夏期大学講座は継続すること

新入会員磯村誠二外37名の入会を承認